

### 3 小学校2年生の35人以下学級への対応

#### 【基本的な考え方】

- ・ 教員が子ども一人ひとりに向き合う時間を確保し、子どもたちの個性に応じたきめ細やかで質の高い教育の実現を図るため、国からの加配定数（基本的な教職員定数とは別に特例的に措置される定数）を活用することにより、小学校2年生について現に36人以上である学級を解消するための定数を措置する。
- ・ 各市町村では、これまでの少人数学級への取組みと併せて活用することにより、小学校2年生における少人数学級の実施が可能となる。

#### 【小学校2年生の36人以上学級解消の概要】

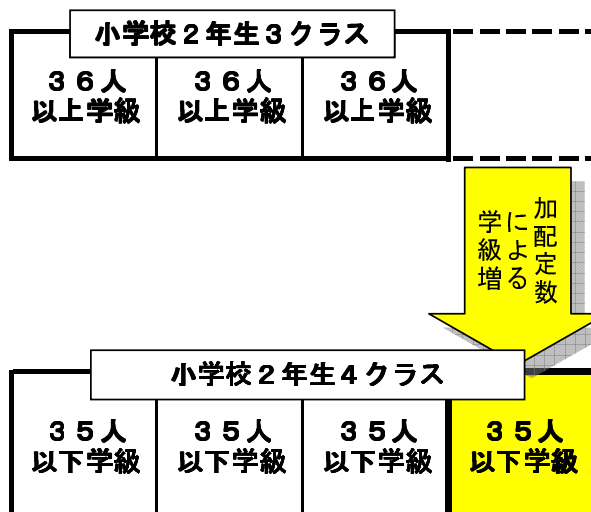
小学校2年生が36人以上学級となる学校に加配定数を措置することにより、学級増による少人数化を図り、小学校2年生の36人以上学級を解消する。

#### 【ねらい】

少人数学級による  
きめ細やかな指導

- ・ 学習行動の改善
- ・ 欠席や不登校の減少
- ・ 学力の向上など

#### 【小学校2年生の36人以上学級解消のイメージ】



#### 【これまでの学級編制改善】

区分	第1次 S34～38	第2次 S39～43	第3次 S44～48	第4次 S49～53	第5次 S55～H3	第6次 H5～12	第7次 H13～17	H23
学級編制の標準	50人	45人			40人			小1のみ 35人

(問い合わせ先) 教育局 教職員部 小中学校人事課 南波 電話 045-210-8134